

第9章 情報公開・説明責任

9-1 広報部

達成目標

ステークホルダーから見て、情報を公開するだけでなく、その情報の見方についても解説されている分かりやすい情報を公開する。

目標

学校教育法施行規則等の一部を改正する省令の趣旨に沿って、義務的項目について Web 上に確実に掲載する。

現状説明

学内関係部署（大学学長室，法人本部高等教育部，財務部等）と緊密な連携をとり，社会，学生，保護者，また高校生に必要な情報の掲載を Web 上で継続的に行い，合わせて，学校教育法施行規則等の一部を改正する省令の趣旨に沿った義務的項目を確実に記載するための準備を進めた。また，東海大学の Web 上には，公表が義務付けられている以外の情報も数多く存在している。学校教育法施行規則等により求められている項目の情報すべてを閲覧するためには，閲覧者は何度か操作しながら検索する必要があるので，閲覧者にとってより分かりやすくするための改善策を検討した。

点検・評価

<行動計画内容の実現度> A

学校教育法施行規則等の一部を改正する省令の趣旨に沿った，義務的項目については9月30日までに2011年度の情報に更新した。合わせて東海大学のWebTOPページに「情報の公表」のバナーを設置した。バナーをクリックすると目次の役割を果たす「情報の公表」のページが表示される。このページでは「教育研究上の基礎的な情報」，「修学上の情報等」，「財務情報」，「教育研究上の情報」の4つの大きな分野で情報を整理し，各分野内に具体的な項目を列挙している。その項目をクリックすることにより個別の情報が表示され，閲覧者が必要とする情報が得られるようにした。

<成果と認められる事項>

学校教育法施行規則等の一部を改正する省令の趣旨に沿った義務的項目を Web 上に確実に掲載した。合わせて「情報の公表」のバナー及びページの設置により情報の見やすさを向上した。

<改善すべき事項>

義務的以外の情報について，今後も継続的に掲載するとともに，さらに見やすい Web ページの設計に努める。

今後の改善・改革に向けた方策

<長所の維持・伸長方法>

特になし。

<改善方策>

情報公開・説明責任に関する行動目標として，学費納入者である保護者，学生を主とし

たステークホルダーに対する財務情報の公表から進めてきたが、公的な教育機関として公表が求められている事項はもとより、教育力の向上や海外発信の観点を含め、学生、保護者、社会をはじめ高校生にも分かりやすい確実な情報公開を推進していく。

9-2 学長室

達成目標（1）

ステークホルダーから見て、情報を公開するだけでなく、その情報の見方についても解説されている分かりやすい情報を公開する。

目 標

自己点検評価報告書の公開を踏まえた編集の実施。

2011年度目標：自己点検評価活動報告書要約版は公開。

現状説明

ステークホルダーから見て分かりやすい情報を公開するため、教育研究年報（自己点検評価報告書）のダイジェスト版を作成することを計画している。今年度は、要約版の公開が目標であるが、計画立案、概要の検討にとどまっております、具体化のための準備が遅れているのが現状である。

点検・評価**<行動計画内容の達成度> C**

要約版の内容について、具体的に検討されたものの、具体的な公開までには至らなかった。

<成果と認められる事項>

特になし。

<改善すべき事項>

来年度は、検討した内容を夏ごろを目処に公開することを目標に、早期に計画を立案し実施する準備を行う。

今後の改善・改革に向けた方策**<長所の維持・伸長方策>**

特になし。

<改善の方策>

来年度は、検討した内容を夏を目処に公開することを目標に、早期に計画を立案し実施する。

達成目標（2）

学外（卒業生等のステークホルダー）からの意見を聴取し、大学の改善に役立てるためのwebを活用したネットワークを構築する。

目 標

Webを活用したネットワークを構築する。

2011年度目標：Web構築に向けたネットワークおよびHPの素案作成。

現状説明

2010年度からの進展はなく、卒業生のためのWebネットワーク「東海大学ネット」内に、「感想・意見・リクエスト等はこちらから」と称して、卒業生が情報を送るためのメールアドレスを記載している。Webを利用した学外からの意見聴取システムの具体化のための準備が遅れているのが現状である。

なお、卒業生からの公聴のひとつの方法として、学長室企画課戦略担当において、本学の教育の質向上に資する教育コア調査票（入学前段階・在学中・卒業後）の策定を検討している。

点検・評価**<行動計画内容の実現度> C**

「東海大学ネット」内の「感想・意見・リクエスト等はこちらから」は、情報を発信してもらうためのメールアドレスに留まっており、公聴広報機能は有していないので、実現度は「C」と自己評価できる。

<成果と認められる事項>

特になし。

<改善すべき事項>

大学ホームページ上で情報の公表をしているが、学外からの意見を公聴するシステムの整備が不十分である。

今後の改善・改革に向けた方策**<長所の維持・伸長方法>**

特になし。

<改善方策>

教育調査票の策定とWeb機能強化に向けた具体案を学長室、総合情報センターおよび法人広報部で策定する。

9-3 事務部

達成目標（1）

ステークホルダーから見て、情報を公開するだけでなく、その情報の見方についても解説されている分かりやすい情報を公開する。

目 標**〔事務部〕**

大学から情報を発信する際には、提供対象者にとって理解しやすいものとなるように工夫を心がける。

行動計画内容（a）〔校友課〕

同窓会情報・学園の現況等、常に最新の情報を公開する。

行動計画内容（b）〔伊勢原経営企画室〕

受験生向け情報提供は、オフィシャル HP に掲載。伊勢原キャンパス HP で、それ以外の研究者等ステークホルダー及び学内教職員・在学生向けの情報を提供する。例：公開講座情報、医学部年報検索ファイル（5カ年）、各種フォーマット・ダウンロードページ、伊勢原キャンパス・写真カット集等を新設予定。

現状説明**行動計画内容具体的取り組み〔事務部総括〕**

伊勢原校舎において医学部 HP 及び、校友課において同窓会 HP の充実に取り組んだ。

行動計画内容（a）具体的取り組み〔校友課〕

三大学統合に伴い 2009 年 4 月より同窓会ホームページをリニューアルし、同窓会新着情報の「ニュース&トピックス」及び「ご報告」に同窓会本部・各会・支部の行事予定と報告を速やかに掲載することとし、各会のご協力を得て迅速な情報提供に努めている。2009 年度の総ページ閲覧数は 274,263 ページだったが 2010 年度は 327,899 ページで約 2 割増加した。

行動計画内容（b）具体的取り組み〔伊勢原経営企画室〕

前年に引き続き、閲覧者が情報の内容を理解しやすいよう、サイトのタイトル等について工夫し、内容を増やすなどの充実を図っている。

点検・評価**<行動計画内容〔事務部総括〕の実現度> A**

今年度、行動計画の目標に掲げた校友課及び伊勢原校舎においては、十分に目標を達成したと評価できる。

<行動計画内容（a）〔校友課〕の実現度> S

実施目標に掲げた値は、同窓会ホームページでは目標値を上回って達成できた。

<行動計画内容（b）〔伊勢原経営企画室〕の実現度> A

年報の検索ファイル、各種フォーマット、ダウンロードページ、デジタルパンフレットの充実を図った。また、受験生、在校生、卒業生、教職員等提供対象者向けのページの充

実を図った。

<成果と認められる事項>

〔事務部総括〕

SNS を活用した分かりやすい情報が広範に提供されている。

行動計画内容（a）〔校友課〕

同窓会ホームページを通じて同窓会の告知・報告、サービスをより多くの同窓生に知らせるツールとして役立てている。

行動計画内容（b）〔伊勢原経営企画室〕

様々な情報を利用者に向けて公開することが出来ている。書式ダウンロードページを ID アドレスを入力せずに閲覧できるように改善し、利便性を向上した。情報更新等に新たに規則を設定し、運用コストを大幅に削減した。

<改善すべき事項>

〔事務部総括〕

伊勢原校舎、校友課(同窓会)のみならず、ホームページは充実してきている。今後、それ以外の面でも分かりやすい情報発信に努める。

行動計画内容（a）〔校友課〕

更新速度を維持するとともに、内容の充実を図ること。

行動計画内容（b）〔伊勢原経営企画室〕

予算的制約の為、情報更新が月に2回（10日、20日）、原稿締め切りが更新日の7営業日前までとなっており、最新情報更新のレスポンス活性化が今後の問題である。

今後の改善・改革に向けた方策

<長所の維持・伸長方法>

〔事務部総括〕

大学を取り巻く環境及びステークホルダーのニーズに常に敏感であり、呼応できるように心がけることとする。

行動計画内容（a）〔校友課〕

今後もインターネットでのコミュニケーションが重要な位置を持つことには変わりはないので、情報の迅速さと質を高め、閲覧者の増加に努める。

行動計画内容（b）〔伊勢原経営企画室〕

様々な情報の公開について、閲覧者が利用しやすいホームページとなるよう、検討を継続していく。

<改善方策>

〔事務部総括〕

特になし。

行動計画内容（a）〔校友課〕

特になし。

行動計画内容（b）〔伊勢原経営企画室〕

最新情報更新のレスポンス活性化が図れるよう、委員会等で検討を継続していく。

達成目標（2）

学外（卒業生等のステークホルダー）からの意見を聴取し、大学の改善に役立てるためのwebを活用したネットワークを構築する。

目 標**〔事務部〕**

大学ホームページ、東海大学ネット、付属高校生等、既存のネットワークを積極的に活用し、大学の方向性に関する意見を幅広く求めて行く。

行動計画内容（a）〔校友課〕

東海ネットの再生・充実を図り、加入・参加者増を目指す。

行動計画内容（b）〔伊勢原経営企画室〕

伊勢原キャンパス医学部 HP に、通信欄（ご意見や提案等）を設け、改善に役立てていく。なお、伊勢原キャンパス HP は、2007年に健康科学部、2008年に医学研究科、2009年に医学部と順次計画に基づきリニューアルを進め、トップページ等分かり易いデザインで学外一般向けに詳細で新鮮な情報を提供している。

また、学内向けにも使いやすく便利なサイトとすることを指針とし、年次ごとに内容の充実を図っている。

現状説明**行動計画内容具体的取り組み〔事務部総括〕**

同窓生及び学生父母からの意見を収集するインフラとして、校友課の東海大学ネットの普及活動及び伊勢原校舎（医学部）のHP活用において積極的な取り組みがなされた。

行動計画内容（a）具体的取り組み〔校友課〕

東海大学ネットは現在、在学生は卒業するまでに任意メールアドレスを設定しておけば、卒業後転送専用の生涯メールアドレスとして使用できる。また既卒者へも同窓会会報発送時にPRを行った。

行動計画内容（b）具体的取り組み〔伊勢原経営企画室〕

ホームページ内の問い合わせ先や資料請求欄の充実を図っている。トップページから受験生、在学生、教職員等の利用者がリンク先に進みやすいよう改善を図った。

点検・評価**<行動計画内容〔事務部総括〕の実現度> B**

初期目的の成果を得るには至っていないが、十分な基盤の構築には時間が必要であり、意見収集のためのインフラは整いつつある。

<行動計画内容（a）〔校友課〕の実現度> B

生涯メールの取得者は9,941人と昨年度より398人増加、そのうち転送先を設定している方は9,549人で505人増加した。（各々約5%の増加）

<行動計画内容（b）〔伊勢原経営企画室〕の実現度> B

上記取り組みを行い、ホームページは充実したものの、電話や窓口への問い合わせ件数は横這いである。

<成果と認められる事項>

〔事務部総括〕

同窓生の生涯メールアドレス取得者が徐々に増加しつつあり、今後の展開に期待が持てる。

行動計画内容（a）〔校友課〕

参加者総数は目標に届かなかったが、参加者の増加率は、目標の5%に到達した。

行動計画内容（b）〔伊勢原経営企画室〕

ホームページの検索性数は、なだらかな上昇傾向である。書式ダウンロードページに、IDアドレスを入力せずに入れるように改善し、利便性を向上した。また、情報更新等に新たに規則を設定し、運用コストを大幅に削減した。

<改善すべき事項>

〔事務部総括〕

個々の課題について、校友課及び伊勢原校舎の記述内容により改善を図る。

行動計画内容（a）〔校友課〕

東海大学ネットでは生涯メールアドレスの他に、Web サービスで登録者同士の検索・メッセージ送信機能があるが、現在2007年度までの卒業生へのサービスとなっている。統合前の旧九州東海大学・旧北海道東海大学の卒業生が登録可能になるように、改善の必要がある。

行動計画内容（b）〔伊勢原経営企画室〕

予算的制約の為、情報更新が月に2回（10日、20日）、原稿締め切りが更新日の7営業日前までとなっており、最新情報更新のレスポンス活性化が今後の問題である。

今後の改善・改革に向けた方策

<長所の維持・伸長方法>

〔事務部総括〕

個々の課題について、校友課及び伊勢原校舎の記述内容により維持・伸長を図る。

行動計画内容（a）〔校友課〕

インターネットによる双方向のコミュニケーション機能を生かしていくことに注力する。

行動計画内容（b）〔伊勢原経営企画室〕

ホームページ検索性数の増加を図るため、学内での周知を継続して行う。また、学内外からさらに利用しやすいホームページとなるよう、学内会議やホームページ上で意見を吸い上げていく。

<改善方策>

〔事務部総括〕

個々の課題について、校友課及び伊勢原校舎の記述内容により改善を図る。

行動計画内容（a）〔校友課〕

統合前の各大学の同窓生を取り込めるように生涯メールアドレスの整備を行う。Webの検索・メッセージ送信機能のサービスも新たな卒業生が利用できる仕組みを確立する。

行動計画内容（b）〔伊勢原経営企画室〕

最新情報更新のレスポンス活性化が図れるよう、委員会等で検討を継続していく。